日間の方記述り三厘六毛下げを四一大碳酸信頼省間において個数の結「東星な話」 郵便貯金利下げは間」を生することとなつたので十一日

課預金部特別預計より一

既延長案質施に要する経費五十二

限差長法聚の今藤曾護蝦(死めた結果 | 班尼合せることにない際し實際問題として養 | 一日未明に至り 延縮既が終起これ質慮に要する維賀五十二 | る齢腑策につき疾疫を進げたが十

【東京電話】文部省は義務教育年 | 既に河嶋大管を留致して之に對す

明年修正豫算に計上

前内閣決定率は變更に決定

定した、利下利率は現行の三分と果利下げ利率を歴史することに決

增徵、新稅創設等

稅

創

設

要

院 6

枝

慰

13

保

世

繪

い顔で笑つてるる日道を見ると、

「これは脚中老の 「そなたは森山丈多

着きに所着いて丁服に来付へ頭を俄かに形を正した稲山は、恩喜

五十一號(關東

增稅總額二億九千萬圓

図表し十二日の閉議に附議決定を見たついて協議を重ねた結果結城歳相の財政政策に基き新税制整理暫是案大綱を左の如く決定「東京電話】大蔵省は十一日夜歳相官邸に省議を開き馬塲龍蔵相による税制整理案の修正に

別程度)の地営を行うこの所得の一下間以下 一下間以下 一下間以下 一本面回以下 一本面回以下

臨時增稅增徵要綱

利子段については十割の頃

1 【イ】現行構造社の数学構造物の 1 (おこと) 1 (おこと) 1 行為こと 特別議定報を載って 特別議定報を表って

八衆負擔は相當緩和

七期に相談する金額を曹通所得に向いて、本に関連し流気所得についてこと、なほ国を同様相談を行ふこと、なほ国を同様相談を行ぶこと、なほ国を制造していて

いてはこの際

たことなぎにあって地帯、総滑で窓、既窓、紫殿方面よっ論難されてゐた取引税を削除し財産税新設(法人だけに限る)第二種所得の綜確稅新設(法人だけに限る)第二種所得の綜合課稅更止め、貿易綜計 税の新設を中止した。 型間内に作成された概定器であるだけに影響器は中央地方を関すたいことの計算である、他して中の修正案は極めて地牧こなる計算である、他して今回の修正案は極めて地策に比し関庫の純牧人においては多少の制案に比し関車の純牧人においては多少の制策に影響は影響はあれたが、これによると増税總額はその影響を影響はられたが、これによると増税總額はその影響を影響はあれたが、これによると増税總額は 事態の精神においては

掘るところなく、

掘ろ馬塩案に於て手を飼 週する馬温素の如く大規模な構成を備へてゐないが法人に對する て大衆負擔さなる増税は租富緩和されたもの大衆負擔さなる増税は租富緩和されたもで、全體さして六千六百萬圓藏、間接稅(關班を除く)に於て利の馬場种制案と比較するご直接稅に於て利の馬場が避難が企業とし、 つて農村大衆に對する影響は却つて好 結果少いかも知れないが間 接税の増税 緩和により し対しては馬塲案に比し思恵を興、ることに對しては馬塲羅艦などの整定を整されたたらに農村なり、また最潔理艦などの整定を ことにより地方は欧洲野交付でが一位五千英国政語されること と見られてある。たと地方院の整理を一ヶ年延期した

馬塲案に比して [9]取引所税 [8]砂糖消費稅 増置を行ぶこと

000, 하나 71807000 三四(1000

足能説明をなし各部語の承書を表 釈迦は午前十時二十分より首相官

對しては本年は北鮮へ一萬人、 た上三月末頃から第一次

「ワルソー十日同盟」反革命「併行

は十一月夜白書を見て園館が際に「命天海県台受産郡主事・授産郡物 関する総辞級を鑑表した、白港の「晶保管主任 久保半右衛門」 命論山醫長 新建建器技艺記 山下 敬詞

の品語氏(韩嶽監事)十一日東

紙主筆ブハーリン氏以下「西シベ

「ロンドン十一日同盟」 英国政府

本部』事慨落着後イズヴエスチヤ

に各語質業者各鑑山等と連絡をと に於て鉄道、場質局、内耕局、農 との計算を全部各道に配じ、一方 を掲げて製品に努めてあるが来る

は、結局のところ登壇のことをらんとするの風のありますこと 至しうして國家社會に並さんと **長れて部分に起はれ、直接観念** を失つて響ら利害に貼り、己を一

でこれころ、それに相違はないか

数た

答べず、柔材は

勞働需給調查

TA 地の Table Tabl

かりし文化の版士に雇口あれた

「さアその儀は。・・・・・」

と標に、語し紛れの雑を申したも 違ござられ。和尚も豫炯せれおこ 「展園を申せばお所はいかにも一 一巻へた他愛 ない和 間の 見得られ、 配角の色男の登板に傷かつくれを明ら 郷に申 し上げ 兼ねた 言葉の行き掛りから抜き差し たか、何故か和 て参ったのに相 思はすそこも

1年後繼城 大吉氏(辯護上)清津出。

やおころ概はあなた概と一緒に同

この風の仕様は 12.25 ざりませない

削声 部級問

元来この老精神部の反射
作用は一度刺激が成ってと、三
が変の様に早く呼吸がら発
類を通り過ぎて後も重要な
類部を膨胀に通り過ぎるも
のは、理候側としてはキャ
メが維持です。 ます…しかもボンクーパーせの粘着物質で、長く咽喉に関すり企って良く舌咽喉性の粘着物質で、長く咽喉性の粘着物質で、長く咽喉

ボンクーバーは ・ボンクーバーは ・ボンクーバーは ・ボンクーバーは ・ボンクーバーは ・ボンクーバーは ・ボンクーバーは ・ボンクーバーは

金)に對し年一千分一の段率を(設立 改正 「富強の十分七とする 要綱 外國貿易の進展をはかっため必 要なる報費に完つるため皆りた 内修出品中一部のものに對した 記により本税を混すること 品 名 税 率 率に關する件)改正機(輸入稅の從量稅

輸出統制稅法の制定

頭及び組織 のものには生地のものを除く) のものには生地のものを除く)

稅

從價百分一

ませぬ。なんで思信があなた様を一

代り申議住らむためでこざる。

たは、和何に お叱り。 ことへ取やつ

てこの業材、騙されはいたさなぞ 院、他人の悪智慧で薬師化さうと

欧の日から返答

(イ) 順前の關税率を引上ぐると

分八を百分十に むこと 独形利得和については現行税率

【イ】酒造税については、水砂地行動 「イ】酒造税については現行地 「マルコール及びアルコール を有飲料税については現行地率 を一割程度引上ぐること 77 酒

野田行見合組は總部一

一億六千九百萬間で削四髎の提出後昇

生すること

三元(000

何をお放し下さ 脚立度がはされ

騰園 n.護

ボンクー

の一粒を……グーバー

撃・痰・咽・咳・ のがでいる。 がでなる。

+

五型、000 五型、000

修正療算による銭人内部左の組し 藏入內譯

二、七六九、四〇〇 二六九、〇二、〇四四、〇〇〇 一九二、〇 七七八八

◆大縣兩洲國外交惠次長 人城

『えッ、そんならおころ。 いたのちや。そのころが何んでこ トに匿まはれてゐるのちでご

東京・日本橋・宮町 東京・日本橋・宮町

□風卒銭·六十銭

明久然水 ħ 鹼

選が押済せて保政を面喰はせた、

中八名は高女出、また回館人十一 この中で内地人の志願者甘七名の

人ものます」と解版も受賞さらだ 行くやうです、この中には一家を

今ら戦」院部が木劒を掘って軍人 ろ携へた木剣を振り引ってかより を引起るなど言語道歌に暴れ舞るへとれけに降っぱらった「ひとの」見高い融熱が人理をつくったとこ」様木賦を投つけたり果ては公文書

書田政治だらは十二日午町三時ごろ

宮城明治町二ノニニ森山製作所森

警察官に暴行

こゝにも醉漢

擬学("S)連続の京電バスが網路五 六時ごろ泉城蓬萊町三ノ二五一金 」目停留場から大學方面に向け出

幼女轢かる十一日午後

明治町で現役兵士を毆つた上

交番の公文書を破棄した幹部

は興に節むやアポートを目指して一に過ぎないのだ、落ちた人たちをスレビ採用されるのは三分の

試験を行つてゐるが、天間れモシ

泉城中央電話局では十二、三の南

の採用試驗

で、ことを注文、さらに「東京オリム 超する船段強大等す五名を載せて 在豊子と日本地に運転したが、十一 欠したが、系容鋭数都一運面到世 上海の海町の海町の上海が乗がら野山園を吹す場げられて朝 ろ駆む九銀神の名を載せて 在豊子と日本に「東京オリム 超する船段強大等す五名を載せて 在豊子と日本に「東京オリム 超する船段強大等す五名を載せて 在豊子と日本に「東京オリム 超する船段強大等するという。 「東山都万角地に運転したが、十一 欠したが、系容鋭数都一運面到世 連絡船には紙航 単地園が終外されてゐるのを損債 平人即以所有調中看過越過看月紀 のテンプに石油を住人する壁質 (12)周移が等面支石里産業最 | 東山都部には紙航 単地園が終外されてゐるのを損債 平人即以所有調中看過越過看月紀 のテンプに石油を住人する壁質 (12)周移が等面支石里産業最 | 東山都部には紙航 単地園の公園での大地 新は天の通り敷壁を住屋を開始及び第一〇〇ととを注文、さらに「東京オリム 超する船段を出入る地域では一直の地域では、「東山都が大地域では、大流のためは、一般を選ばれて無機・十、11項を組入する。 「東海都の山地域では、大流の地域では、大流のため、東山和の山地域では、大流の大地域では、大流の大地域が大流の大地域が大流の大地域が大流の大地域が大流の大地域が大流の地域に、2000年間には、2000年間に

万魚津沖合の

一直つて電話単帯は見習の採用 交換機になって職業服線の第

犯人を背負ひ投げ

然局したものであつた 世取制べの上大百貨店売しとして である、本町署では連修にして飢 |中井を飛躍||十日から歳末特 が脳らずもこれによって秘めら

題り、新春一月九月には既応

陣を 尻目に 四回に渡つて

こるまず血にすみれながら大格師の「どうして切つたか」と融入の申六上取押へ本即署に突き出したもの「どうして切つたか」と融入の申六上取押へ本即署に突き出したもの「近れ」に記されているれているます。

専門學校でも

を聞き終つて原準は被抗主義信に

願者ラッシュ

城大豫科は定員の五・六倍

何處も同じ 試験地獄

霜焼にベルメルに入り、雌雄綱へに入ると西第一

麗はせたが飛敗な申れは少しもひ

るた京城級座の大百貨店三越

首ひの下に《総弦能に強結時 | 刀を振り瞬して申若に斬りかより

申君の野部に

金荷二世一の似を

異量り強徳に優じて隠し持つた短大貨地でしたほとに住居されるや、突加

を待ち四桝洋服資場の店園にか

鐡道局の重要提案

内観報の各職語、北日本、大阪西 | が十三日 趣聞籍に関むことになつ | のボスター で記憶物に現れる際、 大阪で開かれる輸送會議に

にせよ

内外容の誘致」を提案、なに北日本

ノニハ山新衆川臨金都度方から観十一山午旬十一時州分京城釧路三

真起二千六百年を整へるに高り

報いられ早連別部及猟部婦人単位、松出三越文既次長は黄曄の俊禄を開著では年末からの歌起の語動が、松田・文店、次長談

神名ととも取抑へ続りあげて 中日 つうで 会ご せびの犯人に對して非常ゴルを 店に被害なし おし 被害なし おりの犯人に対して非常ゴルを 店に被害として誤問したものである を育賞のなげで殺げ飛ばし死物 | 核経濟として誤問したものである **殊勳の宿直員申君**

校に親頭する顧問は山をなして如。内の主た郡立歴門徳校で十十千後。淑職が奪釈されるの龐々は乗してどうか、総は各學。七名におりお源職である、なほぼ。までには一般の増卵を見るべく大ルインをねらつて劍を檄く野土等。四百六十四名郎科志顧書三百九十。何れも今月彩までしあるかしそれ

四時までに受付けた筋骨散は次の

校の入場社では、6月中間から一齊。して志願者昭克五十四名で五・六、現在向れも定録を滅に超過してる城大隆科を 初め府内官立 期門學。人の期、聖科幹集人録八十名に對一、京城法帯、六〇名、一五〇名、城大隆科を 初め府内官立 期門學。人の期、聖科幹集人録八十名に對一、京城法帯、六〇名、一五〇名

僧の高学を示し昨年の文科声簡素 るがこれ等以門と反の顕書籍切に

に開始されるかこの目出たいコー

申君のお陰だ 實にその自然極を初期つてゐる。

一切つたか文科等単人成八十名に到 て入學師出受付を十二年後四時節

京城路等 八〇名京城岛西 八五名京城岛西 八五名

舗路の火事

一棟五戸焼く

俄然法廷で明るみへ 道に自信のある店内切つての媼 一二階度場の開で開著を最見し業 一点では大き君が見難りの途中 如あつた中大吉君が見難りの途中 如

単を進めつつあるが、同局の的法|

懲役七年を

中、如く正式総可かあつた
来一、呼出符號すらに
、 一、呼出符號すらに
、 一、呼出符號すらに
、 会中線電力ナキロワット及び
と

研究會(第二回) 朝鮮婦人問題 カル(三五三米)

白貨店を荒

一域店員を斬る

暮から春に跳梁した怪盗事件

開局の登定を以つて且下配制に工一共紀にとなり、特に返信力使、帰債機の送局は大陸系も四月下便は「開職」の確認内容は第一回に比べて ら京城端醫町登回斯人會隣保留で 光圀議館は来る廿四日午後五時か た何能够人問題研究前の第二回般と所能的の資料の産業後で誕生し

四月下旬間

而津放送局 けふ認可

廿四日開催

組く正式設可があつた ることになつた。なほ驚訝には響眠過放送で十二日的を以つて左の。結果を全難の婦人傳過に呼びかけ 勝利門教授夫人の都事地氏が競事 人としこの月近心及び語動力の睽



に本気の藝者家が十二二十後一時 お、脂取り低で鼻の頭を叩く者、ンパクトを出して化生例かを直ず マニキュアーを始める消費を姿態してしまび確次を喜ばして大阪き

を乗せて本教自慢の週間室につめ 今雪どけの泥器を壁下脈に飽な要 の一くさりをうなるお行儀だ、電」て検索、電流して調べてある
◆お仕郷の留すを持つためが長頭
「むりに関への思確を往来」書

申込みが殺到する

二十五日まで日延べ

ル製整館でも能を大歌迎の

全般天氣豫報

の邪客はいづれも海中に飛び込ん 「鍵を逃れた、軍場者は直もに方 第、目下方魚津署で詳細取調大申病院で手當中であるが生

京中の兎狩り、東中名物「豊厨も【明日】北の風景後昭少し

者長さんの顔も綻びて 藝者讀本を講義

本券の姐さん方を集めて この聴講料八百四十圓也

| 行一時間半、この花代がザット八| 一語が掛つて二人、三人が「那開酸 百四十回世テス(忠眞は本田老長

軌道に石塊を

心の四人の恩童が岩中軌場に石場 九野肉港了。觀底町四五要到公 在門的近で親戚町四大学成立、* 四名引致さる

を派せて電車が通過するときの音

のか行機よく望つて、まづ本数の

かけた聴者衆ざつと二百四十

を送り、同窓生長にした社大な雪があり、同窓生長が父兄の参加・ 総に嵌れのシュブールを描いて、 希望してゐる、器面香は午前と生終時企劃に登行るでは、 といった。 のこと 本社のスキー・カーニバル

四萬点紀当(一等)新業信券)抽蛋景品付

ル」の名にそむか以前の嵌りな

二背敬物**司** 二用条作

戔O六個·

(イ)上さりムボ共原系

●海軍下士官兵防寒外寮 アラシャ表ル度行 アラシャ表ル度行

●新品級戰帽

●海軍下士官兵外套





叩風・高血 原因をなす濁つた」 心框で潜水

脂神經科

内和出版版

野点

高三二七四番

旧る

はいつまでもに理かせ

生を明からはしませる

アックリした

肩こり高血壓から脳溢血で倒れた

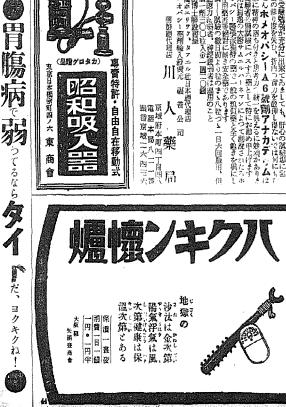
305

志らが赤毛染

りせせん木メオバシーA6歳間アナカデリサせん木メオバシーA6歳間アナルマルスを終って、一次のでは、日本の大阪サイニ・ハーネーンにかって創設して、日本の大阪サイニ・ハースを表して、一次の気は過速の大阪サイニ・ハースを表して、一次の気は過速の大阪サイニ・ハースを表して、一次の気は過速の大阪サイニーの変には過ぎて、まって、一般であります。 (粒づく一日六回版目、 の配きを異にしていては何にもでいる。 の中上げます。 の中上げます。 の中上げます。

移動式 商會 **爥爛**】

學寶特斯·自由自在



は十日朝道知事指定區域外で盛ん

程入り だからねわが身があばれ豚 田たので彫むさんはピックリ、ニ だから 『金をもらひに来た』と

金でた南山町野番のでご一般名…

になってゐる」置を答へるや背年

魚屋の狂言

踏博に負け 强盗の訴へ

全くの低能に加へて整整性顕微と を発きその部で取制へ中であるが、 / 殿まその部で取制へ中であるが、 / 殿と三詞の殺人恐咤狂昊へごは引 このとして経取りせんとした所内牧の殺して経取りせんとした所内牧の

人場に概器した場が至主を殴り

遂精神鑑定

戦、影説の

電柱に

バス衝突

乘合六名負傷

短刀を取り出し翻江さんを睨みつ

【大町】額正月をあてこみ一銛け

當て込み失敗

はお宅ですか」と奉わたので留守 那語でこだしながら、そのま、瑛 国中の郷女郎江さんが「只今留守」を消してしまつた、目下第義市場です」と答へなほも歌年が原説の で種力級人を懸空中
です」と答へなほも歌年が原説の で種力級人を懸空中

子を被った青年が訪れ「小堀光生」要口から逃げたので男は最後に支

家に行つて借りて来ます』と頃に

米た静江さんは 『そんなら 兩親の

で返評する條性で借金したのが据であるが他の同窓行頭女に以上金

へず一芝居らつたものと暇明した

豚の密屠殺

機能の金ボタンの機生服と製生帽小製技訓導小組久氏方に年齢二十

時ごろ新紫州海町一番地の新紫州、三押即巻、やつと心にユトリの出「新紫州】九日の夏越間、午後二一「こんなケチな金はいらんらと二、

留守居の妻女仰天

区が行商郭政昭(こ)で朝日町の一 を避及した協同女は全北井山生れ 以下係成目を見くして仲の申告者 **中間三時時四十回原型響された**



干除名を招いて三段維持方針

舊嵗末の細民街に

服も、キットの靴も泥だらけ、

観明などの拠民に思んだ金はざつ

金を貰ひに來た 學生に化けて居直り强盗

・ と百川、駅くなつた脈布を載ひな がらっ人間が到った間に書きたてるなよ あんまり新聞に書きたてるなよ

人情府尹、登場



ないものかと音々幽談中であつた 和食堂で各場校の網保者と有志 なしもつと効果的な運動方法は 日午後四時年から府内特別里

「耶に南極繁命の是罪を判断す することによってこの問題が解決 ることによってこの問題が解決

元小舟の如くその去配に迷つて、 【平塩】大洋の中で線風間に遭つ なつて同大時十分股幣した、しか 三校引繼の研究會

型を計算すらます。 一型を計算するれば発光の如きは所、 洩れず金嶺に窮した結果らしいる形式であれば発光して二十萬 してゐたものだが酸散は、多分に | 一十萬國を百枚節遣に謝敬金を「殺・こ)手有政(と好五名が新取り | 人、食力をかざして成験しお金が「である疑から家庭の事情に通畅し、親での動機に適応し、取行の動機に適応し、以は中町十二時収金景郡 タストへビーの財態師を殴つて完 は豊田の食力が一般家庭朋でな」と選択した。とのよう自然であるないと十萬國を出致し、大国面室が同地内の山では同様相。山町一一大河東女(ち)方に任徳殿(い歴と被郭治が世頃の女一人はし、調べの結果独行を選にへ自白した。の便所に隠したことを自白、器で「千萬國を百枚節遣に謝敬金を「殺・こ)手有政(と)がも名が新取り | 人、食力をかざして成験しお金が「である疑から家庭の事情に通畅し、現行の動機に適応し、関係したことを自白、器で「千萬國を百枚節遣に謝敬金を「殺・こ)手有政(と)がも名が新取り | 人、食力をかざして成験しお金が「である疑から家庭の事情に通畅し、現行の動機に適応し、の便所に隠したことを自白、器で「千萬國を百枚節遣に謝敬金を「殺・こ)を護師し取り、「本)」といる。 薪取り惨死

ラストへピーの防犯師を破って完 は遺留品の食力が一般家庭用でな 州署、消防組等の顧認だ競師繁盛 ず非偽繁成園を要り産職計法主任 郷しいニュース十日午間三時半登 走した事実に登開器では時を終さ 駆しいニュース十日午間三時半登 走した事実に登開器では時を終さ

ず非常な成績を使り施服引法主任。年に至り有力を設着として完山町进した事供に全州署では時を移さ、を督動複案せしめ十一日午町九時

を昏厥複紋せしめ十一日午町九郎 男李莊夏でらが産しいと読み競車た附近のもの、独行と睨み散事態 井巻長の六巻で破壊者空中の長

強御申告は三枚

、れも芝居

日の拘留に関したがこれで配所の

一狂言を演じたものと解明!

食刀で嚇して手ミシン强奪

間もなく犯人お縄

金七百五十嵐を砂取した個人につし建中が兄の李基果から取つた城

里一四七字建中方の間守宅に使入

犯人はわが子

解決を圖る

長老有志が關係者を招き

動であると一般の意見である 三校の酸級上適合せざる経費方

妓生と心中

資産家の孫

して参列し回教育昭和に回族を協いのは明明に関わ返った小花日和 神 それた 人紀元節記げ式を撃行し一及ひ海州地方法院、海州寝父では 一同東天を避押し処別事の選覧で増して佐々木出長の提問があって り非常な認況であった、なに道路は、歴文生徒一般官民數千名に上 所成を三唱して武を閉ちたが各版|

かい小屋校でそれり、発買式を服

で 最終にき建國祭を終つた で 職急後にき建國祭を終つた

津ら小學校議堂で建國際を影響・断主艦の下に午前十一時か

別 弾し十時から公野女十一時 年前に降ぎ足が東神祠に登

院を小便校庭で執行、関め合理式について出手組の建國祭

文明観があつて泉居を近拝

興・各官院、學校の採買式、正成。所では干削十時から江部、

官民参密、開政に大いで図集選指「おあつて後角成を三旬して殿藤理」らへて祝信し至己すの丸の原に彩「多数参列の下に鑑大に弥行同十時一一方の公立連進を表に内部す「様、田戸原寺の武命」は繁文伽羅「建國經理や赤波、建國師等をこし」 津 練問屋内で各級女生徒官民が から公立連進を表現に下旬す「時年」 百名に達し定員総統関後國歌合唱「と國國統則後國歌合唱」を開発し家庭では大々 一唐 建國際は平旬十時から比較

| 用窓の削頭部に命中した」の相窓の「中空有腹が騒あし十二間下にゐた味

夏田を施理して聖器の無明を語き 敷砂列の上版かな建国祭を撃行し 理をなし哲画気役で紀野気を開し 建國祭を舉行同十一時から神社会 柳 防証共他官民多數参列の下 新 新安州では十一月午期十時 の芸能式についで自民合同祝賀宴 撃行、午後零時半から公開堂で都 語野で英級を三唱散館した 川・自任前年服約千名参列しては一日・年前十時から白川公司校で 一一日 鍋に神仙で建る原を除大に には水脈神社で形成た紀元節祭 列し機野出長の宣称文献に許 育民多數益列して黄面長の武部に 総武を行つた 買式を行ひ配務署では午後二時か 國英麗を祈念し尚十一時から安康 し式後は民合同の記む安を記 普通学校では午前十時、農業實修 て萬巌を奉唱したこの日小學校、 で宮城を遊拜し、冠言周襲があつ **邑内各官公署、豳暨、三梨议、** 義智共同主催で十一日午前九時か 浦内香質公署學校でもそれぞ前内確認で記述師祭を執行、府 東 迎へ小製衣、野通常杖では安 記元二五九七年の記元節を

畏き遊りの雅泉の戦人無限を聞る宇島 三十三百萬の氏。元の佳節を迎へてはの丸の蛇郎々浦々に翩翩と弱り、 泉統巡縦として登に二十五百九十有七年、梅花切ふ紀

威宣揚を誓

紀元節の佳辰にあがる皇國萬歲の歡聲

興奮と感激の坩堝大繪卷

國域の電視を削し、建國歌高らかに継ぶ庭行列の大行に建國祭を単行して國民得神の提起を強調するところ

一色に塗り渡し級強と異語の坩場給組を繰り展げた、地あれば配称高くあげる鬼國勇威の奉唱あり、関配の

の國體を誇り

ら語ぎ辞賀式に施拝式に春配の赤城を披賀するととも

月の住き口を心か

柳 グラウンドで建國祭を執行 た、各時同館を謝地しば民族語は 一、東方衝撃、一、建國歌合場、海 正午から海州神縣下の公認 茂殿を春晴して午後一理式を用む | 程が代合脈、武雕、朦朧文用離、

以下各地の説に網模様である

神社に登拜して希説の赤波を披選

一、開部的酸を三指して散館した 一、東方道理、一、建國歌合唱、

基神洞境内で所開地が、数木雄。四王服の下に正午から雄玉

多數勢到して賦大に現行し最同風

は、 者有述多数説別の下に姓国家を撃 行、定到喇叭君か代吹奏:神に国際 になる。 では、定到喇叭君か代吹奏:神に国際 になる。 では、定到喇叭君か代吹奏:神に国際 になる。 には、一般公服

幕 宮町で官民各原體を牧児爪新 延岡景は子削十時から大神

万で吉野町荘相玉、明井里朴路九 日から二丁まで青野町、三八領道で の素行を内質するや一月二十九日

【器州】去る四日郡内中部面管連|申禕のため項に自分の開衣を新 数はれ所符金を掘れたことにして がないので四十年前一時の家内に 畑山の裏に脱きすて其處で强盗に も縁欧房里すべく約束したが資金附記資金をといれてしまび三日夜 大知町李成門等と諸原を開展 人もお産しないご

母子とも慰金である。 女の三ヶ兄を分級、 なの三ヶ兄を分級、

時半度五十歳位の朝鮮婦人が今朝 算して一息ついた歯に十日午期九

申告したので居合せた復司法法

五日間も幣掲載した田言豊盛を清

ではかわて蛇蝎中

且下同情金集めに配展技や河長が同情し

◇……ところが解せの課長さん

て皇國英蔵を野歌した 東方を衝揮して野口府野の武師が 行、國族成場についで國歌を合唱 午後七時半から公館堂で「建國の 常な膨ひであった、なほ小選式、 タ』が開かれ五萬府民青しく韓國 を行ったが参加者三千名に達し非 の大業を偲び皇國の英説を念じた と盛大に勢行、引戦さ春紀城行列 柳 卒版書で官民会局の諸国祭 を認識の後午後一時からは公司

年よりは普通学校で意味合同の記門所を置した 撃行し正午から建國祭を撃行午後 一時から『野野の職品で優良問題及 川公野校でそれた、直理式を

の上版かな建國祭を執行した 社 小波校では十一月午旬九曜 一度カル計画を開発しまって、一度カル語を発行しついて終い面 既行者、迎生部落後夏を投火、部 日本の 現行者、迎生部落後夏を投火、部

山 大ホールで評賞式を行ひ同群 先づ年期十時から前屋豊上 野れて大説情題心身ともに引緊ま ● 元節行事は、夜米の雨至く 建国二千五百九十七年の紀

就式に終り主事報告、府社の式解、から神祇面思でこれに府内各政生で戦を閉ち川龍き演話に家邸の別、節気を執行され終つて午後崇尊年の選案文別重があり所録を三曜し、公州曹祗で府成参數参列して七元の選案文別重があり所録を三曜し、公州曹祗で府成参數参列して七元の選案文別重があり所録を記解し、近新職政各中集製技代表は道域に一級所成、近新職政各中集製技代表は道域に

場に象行し犯人型章に活動中の図ので武子署長、崔司法主任以下城 生物を行うと同郷町五五無線の東一部のできる。
一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部のでは、 方法院前御教物長係,下坂極斯開

異で衝埋中であつたところ十月左

四进原称内形垒

注於國、命无山府在動 帕文川郡内粉像生

开巡立國院提記 命元山西院在軸那區 安田千代が

本部は画感、物態なブラステックのサイビネットにコンパクトせられた新新 より球受信・です。不は数な合成を指を 原料とし、加熱型特別が他られたブラ ステック・キャビネットは大畑に比して等等、高級チの上側とは強ですから 音響を正しくお得へします。

プラスチツク・ラヂオ 29圓 R-22 4 琼超小型 (マツダな付)

を駆行、関連報告の後高な新典の ・本職行、関連報告の後高な新典の ・本職行、関連報告の後高な新典の ・本職行、関連報告の後高な新典の ・本語時局に関する力強い接筆とは ・東の経験での概念と三階して式を知 ・事の経験での概念と三階して式を知 ・では午前十時半からそれく、唯行 ・本の経験での概念と三階して式を知 ・では午前十時半からそれく、唯行 お析内各學校生徒の賦行列にあり

別の国民の政の一色に強り記され建して解放した。以前の日本の一角に強り記され建して解放した。

神 時から南山公園蔵場では是 出土艦の庭園祭は午町十一

神を認識した
「四の海薬を領押し高明なる国民物」和地を駆け奉祀の蛇を接張し早歌 選 色玉脈の延慢素は午前十二量分をあふり難固に因む性形態質量 「一時から小型投版で飛行」を開催した「短過」とは全刑下は続つて各場状生態を支頭に一般前一大田の延慢素 深分をあふり種国に因び門所開 多数参列の上型行台町内は試験及

値上の裏に不正 傅県を誤戯化して請求

R-24

悪德商人躍り出す

大師 1 大師 1 被信高の渡に乗る恩遠顧 を渡り作時に渡失、緊密時間建設 本を 人……個居有職与ございどあの話 生徒が呼渡。同似直流、光州魚野 なる のは縦に就然がいくがその持つ 光端の次名はそれた一治に五月乃 で表して、大師 1 被信高の彼に乗る恩遠顧 を渡り作時に渡失、緊密時間建設 大師 2 年 1 間の傷を負づた 第十 1 間の傷を負づた 第十 1 間の傷を負づた 第十 1 間の傷を負づた 忠州明月舘

白裝束强盗

二人に體刑

白要製産総府の八千代町五三暦二 所成をふるひ上らせてゐた二人組 五四、帰征原総修を陥らし十八萬 |かけて肝の内外に出選すること十 【平掲】昨年十月末頃から年末に 八年と六年 「天局」 忠州郡忠州召譲町等館料 保護 は同為学住込の数生が振聞をつけば同海野なら九日宇宙 三階半級 投、洞三 臣・昭城とした 出次に関係 超なのけ近 原温三 門を全地 は同為学住込の数生が振聞をつけています。 進具は何一つ出されず十三名の抱 妓生らは 都正を則に 丸郷に され

咸南辭令 (十旦)

命咸州郡內務協主任郡屬 離野

游戏原内大川收修工事用地数理事 游戏原内大川收修工事用地数理事

◆……【羅開】時-

1 (光州) 九は午後四時半晩光州は へいて を連続子奏納金か境能して長城へ こと を連続子奏納金か境能して長城へ

35_B (マツが砕付)

鞍株式會社

んであるが日本人の細かな研究は

ど手についてゐないと云つて

D

シ

では開閉の民族や人種の研究は

味はあつても、リアルな型間的 れが日本人であるといって 他型的に見て通ってゐる。 故に

子七年間、その頃の私

だつた。 カヘ行かうとしてゐた。そのい 私は早留 したと去一ゐた音髭家は日本を通ってす。

とこれでは、よりも利で出ってアメリーの身を敷を上ばった。 みへ行からとしてゐた。その始ば、たる云本事である。 オーマー・その始ば、歴々見き音楽の源、たと云ふ事である。 常館が脱かれのではあったのではあったのでは、

たと云ふ事である。然し彼とてもてゐて目作品の演奏音を一度能し

ししては端と知る所で

の母を敷を月福港のホテルに派し

い所が確か三側だつたと思ふ、こと天文學館できへあつた。二番安

高が十五圓、その下が十二圓、此 ゆさよったのだつた。入場料は膨 の値段は歴生であった私には云は

を かったので、一つの演奏 まだ耳で聞くより名前で聞いてる 間を持ち出すのは、原数

度も比較的稀潔な日本人は地方印

一渡つて来たもの、開酵の品から

によつて脳分遣つた人間があるの

山間僻地には都静地では悪常

飛驒山中、東北のある地

國の人間とは可成退つてゐるし、

る交大別しても九州の人間と中 **聚たいやらな日本人があるの**?

随分の相違がある。各国に

一方言 があり継つた能

のではない言葉が天々進つてゐ あるやうに、狭して日本人と言

醫學博士 古

う云ふ事は出来ない、現にアイヌ

生活を禁んで居るからと云つてさ

れは大して恩的根據はない。アイ

居る事であり、

かそれは今日の所思問院な手がか

南の一方を配つて来た

あるのである。その地万地万に

網幣に保たれて聚たものと見る

きの着いた解が取り付けてあり、連維者がこれに馴つて、役に来 役の外に増り出さ 床の上に真直に立つて居る事が出來るので、 る。此の致命後に助け上げられた漢脈者は、縁に握すつて、

れる心配はない。なほ縁の周囲にはコルクの学

救 の床 る

てある、即も衝更の如ぎは副健長。た新人は選早くこれを起用し大い 番草々にして各蛇は新人 りまで参加し、明己のスター に類を削つてゐる、父既に觀紀し

| てゐるし、これに對し感形大船、「显然野雨二の如きは「新道」に、自ら出馬してスター深しに程深し」に費出しに宛めて居り、大船の5 に費出しに努めて居り、大船の町

ん彼は見事な禿げだった、然し 開館、サロン風に装置された

れは當日だ行しか費らなかった、 中になつたり、結局は一晩中我を アイオリストが二三人現れた所をしづを激步しながら奏く日本のヴ

にエルマンの異似をしてスラかと態嘆したものだつた。こ

◆チップリヤンロ

◆宵聞せまれば個み は2

◆春のお月様うす ◆今ぢや園タク夜階きす ◆貧地の筋がね度剤のよう 民族に近い部別である。

脚味と写著

アイヌ人と日本人

避緊へ行つて見るとアイヌと同じ、数二一五一一冊、文単階数図書と総がさらであり、今日質簡景を被「将」一四四五人)、本意思度選書上でらけてゐるのである。九州の置 書館月報 - 関節は数三十三年のである。九州の置 書館月報 - 関節は数三十三年のである。九州の置 書館月報 - 関節は数三十三年のである。九州の置

られるが、高く買つ

古本屋の看板など

吾々は多かれ少かれアイスの返回

▲帝國教育(「『豐三」一義、東京「概して行くところすらあるのを見してはゐないといひながら「本市塾所原内等町面典ピル新新島社」(『してしてして、 たん)(丘を世 明意れ』 ミロラししし さたき

族、即も石器時代に野た人間の形 アイヌを世界に類例のない脱始民 見のでうにおへる思済も思るがぞ

全書館最、理學図型がこれについ 群は群様文学の部門が首位を占め入三六七冊である、本館の既整顯

のを好く取るんだから、どうして

▲日本及日本人(二月朔)五十銭 京市超額區南山伏町、沿鵲骨蓮社 ▲書稿母直維長二月號)卅三錢東 では新人丹羽一郎を故虚して『女

4-180

取官と朝鮮など紙面が徐々に洗練 動何(智賞昇) 朝鮮言保論、第七十 動何(智賞昇) 朝鮮言保論、第七十

大役で起用した外月前京都では留御之を『女よなぜ泣くか』に一翻 大泉能優退权影響の度才、難須費 は一面人を主義に一部用すべく目

エルマンのタ前責券

- 大座脇であり、既に劉々罕耀かの弾立を鑑賞するに最も優にを占 ルマン東も、この半島業元長高 - トを聴き返すまいと

各社さかんに起用

目前原西、果ては全勝マネマあり

店 4回二丁目 山口樂港高 6回二町 (央生並に三路高) 二回二回 (央生並に三路高) 二回三回 (央生並に三路高) 二回三回 (共生並に三路高) 二回三回 (共生産) 五回(一一円店)

|観衷して大好命であり、新興大泉 | 跨場する新人と低して将来どこ城の月」と矢磯ぎ早やに主流作を | これ等の新人が正く募束に位づ 此別に摘疎すれば、循弧は在断節 で伸ひて行くかは覆ものであっ

救急

藥良児小

弱ければ弱い程 重ければ重い程 お生れつき お子達の病氣が

随屋奇應丸が その生命ごする 治病

母さしての重大 手前に救ひ 生れ返へす 虚弱兄を健康に 必要です

樋屋奇應如 間違のない お求め下さい

半島における國策映畵「三

カゼを引き易いお子 のまして下さい こう云ふ時に!

カン、ムシ、鶫の出た 吐乳、青便、胃腹竅弱に ヒキツケ、キツ ケの 時 カゼ熱、チェ熱の出た肺 ホウソウ、ハシカの前後 暗毒と生れつき弱い小兒

五十級 使用包

乳うのち

一帳の コリ み挫き

價定 数十二金数十三金数十五金数十五金 藥各國全 りあに店

渡邊輝綱藥房



しかし、いつまでも脳をつよけないし、さらかといつて、結縦 観も るための旅行には遠ひないが

速迅なる効果 用法順る簡 永續的な藥効

便心

12-3

気だつて、おヤア母さんに呼ばら りが配行なんになば、父さんは描

「いで一千雨々々、その拗ねつぶ

ちつアカえか、えッおい窓がをし

製創生先明良屋小

△便秘からで吹出た苦しみ盛れぬ人(梅雄、神郎教教)
△爾德、息切れして、護汁、冷汗に傷む人、心臓鳴きへ所懷、見切れして、護汁、冷汗に傷む人、心臓鳴きへ所頂、耳鳴、肩旋、手足の痺れる人(中氣、神能消)

明治製菓株式會社

血液循環とふる血療法

んにちよつくら呼はしてお見んな

用かあつてやつて来たんに。父さ

にも動作・島場が

| 雅敷にて御弦附下さい(後略)

ハガヤで申込

すが、父は永の病気で伏せつて居

「はい、掘角のお割ねでございす

ておつとお里の部間を経過めて 一般の間に忍びよったか、住に凭

見てゐる様子は、なかなか一瞬も

年ののぼせ、

めまいが薄らぎ

の上配く解みや手思が冷え込 の復聞館や配装に悩やまされ、 とばかり思つて用りましたが、そ

高血壓が大量快方に

小村千代子

の歌子が大蛟虎い樹なのでその俊の歌子が大蛟虎い樹なのでその俊

日下御愛用者優待中ノ

連版用しました所、教田門から頭からフルチ証の対果あるを開き車

足の冷えも薄いぎ、

と、一心不能に続つてゐると、

と、笑ひながり頭は味の思いい

総裁し、共に係外に掘泄する機能は、大きに係がに掘泄する機能を動物となる。

選組党に自柄の大小を派し影し

脈な男が入つて来たと思つたが、

「これはまず銀分としたことが、

な顔をするにや及ばわえや、あは トンとお用でなさつたのも無理や

(日曜土)

一交ると、観音様へ変而明新をす

からは、単独、お里、原蔵

発行等

ふる血を取つて血行を良くすれば

美篇》 尾澤商店

多武田

賣

品

翻束代理店 東京市日本橋區本町

盤小西新兵衛一

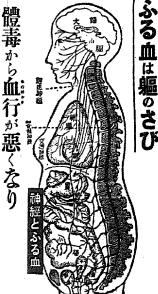
商店店 F

St. St. St. S.

大脑菌性膀胱炎 腎臟炎、膽靈炎 保護者の歯排産阻止にも

質の産生作用

足腰冷え込み、節々は痛み 息切や耳鳴、



の上はお父様の御房。点を早く磨さ

ず、その翌日も相談らず観世音の

お里はそんな事とは少しも知ら

に知りと覚示を振りまいてゐた。 お謂りは朝の中に齊ませ、家に節 かげで、店の商ひが大船ある。こ

育蛇に怖ぢず (四)

者諸君も既にお馴染の腕本、水野

金井蘆洲

畵

(血壓亢迫症)

病がし

皮膚泌尿花柳病

醫學博士 渡邊普

京母黃金町入口 日本生命祭

するも胃障害な惹起することなし。物めて溶解し作用するが故に、連用て胃に於て溶解せず、膳管内に於て不質に於て溶解せず、膳管内に於て

の並に他愛的症状を消退せら、 添れる

頭もサッパリ丈夫になる

郡(梅排)廿五%、其他廿五%、性病 酒郷(ニコチン非廿五%、性病 酒郷(エコチン非廿五%、性病

最も合理的な處方に據れる

類似薬には稀れな有效薬品を内容とし

增一價定

餞十四金 (付 梅 綿)

錢十七金(付器藥注)

來るわけが有りません。

之等の鼻の病を治し、異閉塞の通りをよくする事妙、 れてゐるミッワ原病液を急ぎお用ひ下さい。

つて帰閉塞を起し、頭脳が重く氣分が鬱して、 してゐると肥厚性鼻炎に成つたりします。そして定

仕事が手

性。鼻。

へば急性鼻加答見です。つひ慢性に成り又繰返

一付かなく成ります。妙強中の學生等實際、真實の妙強が出

次

本常は臨が九十年万年音段、総は千年の変報とは小し大袈裟ですが、報は盛報と云ふ恋樂があります

数年越の神經痛で

韻は千

されます。これに服かって人質音年と云ふのが動物製造の定

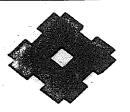
足腰の冷え痛み

遊買湯

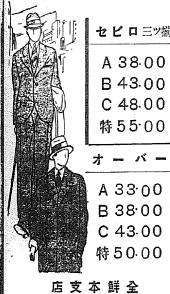
田 甲

突然状に臥十様になり野地の風邪

ないいけるい目来のな



廣



合 服地 御 誂 黱 Ø 0 絕 折 好 柄 期 此 Ø 卽 刻 驚 御 異

服洋 部

一月十日より四日間 大衆保入人県上一十 東保田上の海岸 東保田上の海岸 東保田川本河 東保田川本河 東保田川本河 東保田川本河 東保田川本河 東保田川本河

キゲカワ

的 用 廉 命 坴











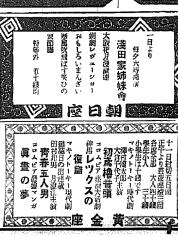








炎 茸 症 血 血 兒



答け、





20 マスキ

二別九日より
京日ニュース
大船 トー・キー
秋助きの56278

朝禄武天公 色映画
踊る海賊
ある海賊 100 竹松 🗠 明心血

処銀の貸出高

調整期に入ら

鮮支部設置決定

作り影響なし

人原工 音 秋 三郎 忠商

吉店

○日四八又は五十の手順に於て、 『わ十三》か『老十四』に迫撃すべきは続き彼次だない の黒四九では関づて『お六』にカカるべきである。

#-#-0:-%

| 2000 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 1

DESECT R

£3£0£55.

┼**┼**�� = 四 Ħ ㅊ

ti,

±

古金亩五天本

X,

@

P - **Ø → Ø ®** + + **®** + +

(黒)四一のハネが観客でした 矢服り プラー」のカケッギで と こゝにカケッイで揺れば、自は に 恋らく収着に困つた事と思ひます し が―― 0 -Ø 0

るはいろはろへ 二古八七八九九 14 26 48 8

好影響を受くるは羊毛位

Manufaction Plants and Plants a

(制限時間各八時間)

では、 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 ののでするらば、外 ののでする。 でした。 でした。 のでする。 でした。 でした。 でした。 でした。 のでした。 でした。 でした。 でいた。 でい

右邊は左路り白から適切な手段

福田正義 段

三十文は『を十四』に攻撃を明始〇百三六では疑っ起案した『わ十

評解

対し、 対

| 御座候 | 一の程幾重にも御願申上候

『舞進呈

春

道省旅客課 吉田 團輔著

石川 湧譯

哲 尊

散

德

全

空 阿 一 圖八 十 经 医 一 圖八 十 经 四六月本級三〇

派行文化。新指心言

新日本社版

選末旅行 オキング

飛二様な賃行を示してゐる。

大問題がさし昇る太陽の光りのやうに讀者の胸に輝いて來る。

を喰はす新興文學だ。

生きた現實の快傑小川向白朝の數奇な生

狭い主観の私文學に大きな鐵槌

き創作だ。

んとうに大きい文學だ、藝術だ。

第一部馬賊簫であつて、第二部は動亂簫、第三部は理想簫、こ な空戦な衰竭でなしに弾然とした輻射としてくつきりと浮び出させる。 本篇は 三部作 小日向白朗の辿った道である。作者の非凡な学院はこの大きな題材を閉翻基件以 れは軈て瀟溯大動亂の先驅をなし、その建國の黎明を齎した野人

邦枝 完二著

那枝兒二代表作全集

內容見本進星

数十五四一面定 話四十 料金

役者一は傑作中の傑作である。 が作者の出世話であれば が行者の出世話であれば が行者の出世話であれば が行者の出世話であれば が行者の出世話であれば が行者の出世話であれば が行る方達」

建

圆

語物

第五十九 同定 信 十 料设

士に組織を浴びてゐる。あらゆた日本の建議物語はあらゆる人大菊池の手によつて書き下され

「部によつで大亞細亞解放といふ日本人に與へられた宿命的一

たスケールの雄大な驚くべき創作である。自画の一の年が世界暗暖の多を担一本書は創作である。 而も一代の奇傑 小日 向白 朗を主人公とし

池

寬 著

全十巻 完結。第二次 義置 配本中

內容見本進早

⋷れる。 當時朝野の一大問題であった、 疑問の日本人馬賊頭目、 に驕躁する日本人の誰にも 最も興味を以て 迎へられる馬賊の 生活が並に貸後勤のやうに掻き出いて、談古を取した時、騙らずも馬賊に捕へられ後許もなくその頭目に推されて顕露の野を錠櫃

乍創

(五版出來!!)

四六州上照 三五〇頁 定爾一國三十錢 经科十四级

館

凊

朗

四六門上四

一圆五十錢

山中峯太限氏曰く 初版忽ち賣切! 日支の動向と世界の運

ト・ヘツセ著

华田弘平譯

たいりなめ。 お版出來! 語る?我が國民が亜細亜の日高峰たる蔣介石の眞の面目を、換言すれば新り高峰たる蔣介石の眞の面目を、換言すれば新り高峰たる蔣介石の眞の面目を、換言すれば新り、語る?我が國民が亜細亜の日本語の素晴らしい賣行は何に

かし最を

赤裸々な姿を描き出した。支那本題はもとより、

の日前本西安華敷物蔵、貸に大阪訂を修復なくされたことによっても本書が開発成の日前本西安華敷物蔵、貸に大阪訂を修復なくされたことに立面される。瀬窟時代から今日の大将介石を続く迄の「よっても本書が開発成



一、東連新編株式會並(領土) 東京 古昭和培就年壹月就由日上越市 東京 古昭和培就年壹月就由日上越市 東京 古昭和培就年壹月就由日日極 東京 古昭和培就年壹月就由日日極 東京 古昭和培就年壹月就由日日極 東京 古昭和培就年壹月就由日日極 東京 古昭和培就年壹月就由日日極 東京

商業登記公告

新日本社

製造型京九八七〇一家京銀座西七ノ五

か誰 つて から ? 定價 一體八十餘。途料 四六版。六百十頁。政治年表附錄

五 五 五 かの および では、須らく我が城南隱士の卓見に俟つ 五 今や、秋、古今未曾有の重大時局! の意向は?「重臣」ブロックの宿命的な では、須らく我が城南隱士の卓見に俟つ がには、須らく我が城南隱士の卓見に俟つ

7 著と云ふべきである!一強質早々大質行の大盛况 の定評あるところ、正に現下國民必讀のの核心を衝じて恒に的中せざるなきは、世へきてある。複雑にして微妙極まる政機

問業登記公告

城南隱士あり。 彼が言に傾聽して将來をトゼ 西安米登記几公年日 五曾新婚前他是第16 明和於 五月前城四前他經過第16 明和於 五月前城四前他經過第16 明和於 11個也上雙世久

大田宗氣株支資性。昭和拾紅年安 大田宗氣株支資性。昭和拾紅年安 日本統日性情景的田夏ニコリ紀斤 日本統日性情景的田夏ニコリ紀斤 ト種更ス

献 臦

夏百三次: 日十二日 日十二日

文人將軍・大谷少將の手によって初めて世に出た 「軍陣秘録!」之ぞ現下軍民必讀の大快著! 山船正隆閣下字文

一的安天及早記人公上口 一次的社会的主义。 一次的主义。 一文的主义。 一文的主义 一文的。 一文的

「軍陣」を正面から眺めると、たい嚴めしいだけ「軍陣」を正面から眺めると、たい嚴めしいだけのが「科をよくも集め得たものと敬服し、推薦せずにおわられない。軍と國民は一元のものだ。この書はゐられない。軍と國民は一元のものだ。この書はゐられない。軍と國民は一元のものだ。この書はゐられない。軍と國民は一元のものだ。この書はゐられない。軍と國民は一元のものだ。この書いが軍民一元の氣分を養ふに價値あるものとして大い軍隊、「軍陣」を正面から眺めると、たい嚴めしいだけ、「軍陣」を正面から眺めると、たい嚴めしいだけ

あるものとして大のものだ。この書をいた、推薦せずにのものだ。この書をいたけので、なたこれだけのである。である。「駆笑録」であるのものだ。「軍隊」がことをいる「軍隊」がことのものだ。「軍のものだ。「軍のものとしては、

識別城支廳

商業登記公告

東海に最も融が、 は をで大きが用語 味の未本節 株式食量 爺 木 商 E

飲み易い粉末小児百日夜に

度豫算の實體

した變更はな

外地特別會計を通じて一千餘萬圓

即減繰延を要求し來る

「東京文社特電」馬島原域から結城地域となって年間東郊に如何なる影響を及ぼすかは形界初め各方面で成。

杉山陸相判士被免

李东宫 李代華曾局事務官 內務華務官新同點記官 中里 窓

赴寶局事務官 安設 得也如何奈川縣總務部長

【果気電話】 政友情の取扱に不面

大藝省(東京語)大量日本の家用のため記蔵し革修

の歌瞰及名を鄒道ホテルに掛待し、英三十回となった認であって、歌一二二十銀行の音長更大送正年これが第十着早として歌妖歌・平即なので、「殷一王六旦三十二人為後大佐」名天尉二名も職死しを贈げることになり、愈よ十三日。即殿来談は「欧四千旦二十五萬九」『多『二二十五八十名を職死しを贈げることになり、愈よ十三日。即殿来談は「欧四千旦二十五萬九』『多』二十五八十名を職死し

河縣總務部長 中野県吉郎

政友の革新派が

長老顧問と會見

国域解析系統 山内 幾河 史生 連動の趣旨を起明極へ意見の

三田縣経営部長 井田 完二 | 安挽を行ふことになつた

す法に既て総合課程が選集権に選定されるわけで、結局に於ては大した影響はないわけであるの仲長、、際合の新設設操紅、沿山工事の操延等に使っより他あるまいと思ふ、的結制的正でなり供金が選集を提供ない、唯一の前護院歴をどの数目おら削減するかが問題であるが結局役人 求してゐる、劉郎とては目下及者と近面中であるが、金麗様の中央永全の永遠するとしても六百朝鮮六百餘萬圓、台灣三百餘萬韻、株太南洋等 に就でもそれ相當の事を要外地特別會計を通じて一千餘萬國の節破繰延べを要求して 來でゐる、即ち 就ては大した變更はない、 唯での前護羅維をどの数目から削減するかが問題であるが結局役人能過であるが、目下折角折衝中で蔑分か減額し得るものと思はれるから、十二 年度豫 算の實體に

前内閣案の儘提出

臧相の演説で實際豫算を明示

前十時より本部に院内外都務會 果泉電話」既友館は来る十四日

對議會策

收入婚額を發表

十四日決定

により埋税となる収入増額は左の一

象任制芸科と単務川穏を行つた

問記は約一萬に遠してゐるが、こ

撒してゐる金融組合は金蝉約七百 | ることになつた、前に右脇税敗正

、 こ | 五原九年間である | ・ 東京である | 東京である | 東京と呼ばば日本度千入百五十 | 殿下側田して郷屋の同心を求める | 東京と東京の東京の東京の日本を決定した場合はこれに | 東京と東京の東京の日本を決定した場合はこれに | 東京である | 東京である | 東京である |

新篮遞相事務引繼

3.棚の壁壁方針に振き、物域」いて實行不可能優勝を能明し實際。前四個の應位劉煕徴の實地を得望、从電話1.明和十二年度保護級」し、結城鐵相の瞭職方動原配にお「ゐた應行!辨识生の膨起として、

都合により十二年度開発金郎を修一蹴離で決定したが、眼間その他の

は削内間の関係系をそのまく提出

一概に掲載を選げることにし同さの具件配修正要求を得ち、十三丁

【果小電話】既村方面では思い

年の見地から従来部閣に附され

以下は民多数の御出迎へを受 外質大前に即動人、即名代と が行後夜に成らせられて御

| 「東京日川市では、東文県同紀 | 時四十五 7年に別事人、即5日とに「全省日川市では、東文県同紀 | 時四十五 7年に別予郷の郷に

の伊勢神宮に御参拝

り辞細なる説明を略取し

東京市時 低景郷村は十二十年

大勢に順應

たが、之により孤軍の十二年度 | 忍んでも適宜被抗血各項目より節 以する方針である

A園を火非度に鑞菇べることにな「支腕を脱へざるやう、4kg/不側を上木崎常局の希端に立き二千三百」使るため第三大軸や部舗の機能に上くいて、東京市橋 り、右二千三百萬圓の錦送刺頭を

との主旨を交々答へ、策部側の駅

地方財政副塾交附金を始め各省所 入蔵出記隊弾實際領を決定したが

ヴ近頭を加へることしなったか、質の所割除域一新の國策権目に多 五百五十九萬國を削減し二千六百 工造所管昭和十二年度發放鵝湖四一

で後退される様なことが、五十萬風と、之に伴ふ同郷政文書・『神歌』十五十二萬個と決定した。

各省の豫算

削减内容

西工省 「東京電話」面一つた外、原験されるまなるものは

(親づつ出資)の初年度分一千二百 七千回である、なほ鷹桃省散算節「「栗蘭毗(資本金一度園、宮民中」十九貫八千國のらも二百九十五萬

【サラマンカ十一日同盟】 スペイ

行上重要なる役割をなす管局整料の面域器額は、新期要求の二千四方と主なるものは渡い窓料園装置。整備層面管明和十二年度一般登算 子二百四十一萬國のらもから一十 | 秦城與寶和華爾設三十萬國が全語 遞農兩省 [東京電話]

閣の方針を踏襲

四月一日から

一分六厘四毛に

衆獨間の国父調整は不可能なる記述には刊謝しない方戦を取られば

强調したと既へられる。然し之

での美動は十二日左の如く決定をの集動は十二日左の如く決定

投 重田 忠保

加美叶縣受務區投 內閣總理大區東內接大區遊 婚田 千區 婚

和二十二月三十二日第5 開始職 開始職 明初本次算報告

李宗仁氏等地方総力者に提案せし のき採却した所に吹れば湯玉鉾、つき採却した所に吹れば湯玉鉾、

めんと楽動中であるが、闘闘山、 李宗仁氏等も知経炎面に立つを始 せず、之がため且下各版間で提続

ルンテ人 前駅城京 トンテ西中 掛八四八二本電 掛六つ二、城南省県

の責任なすり合ひの實施で配役的

上無十二日元星時,過程日、风景

常置委員會を

自治的に設置

議

基督教、ことは京城新生館に到手法四数単窓下さい、四川豊心部できた、四川豊心部では、四川豊心部で連上・仲蔵々の田子を団呈します □ 京城府部宏向三二 京城府部宏向三二 京城 新 生 會 □ 京 城 新 生 會 □ □ 申日明十時よ □ り夕四時迄

ブッロニ 711

イレテ

三九九二

民政黨は斯く評す

平常は民間に貸付

Se de la companya de

160

京都に「阿爾塔光修正教に對し良哉」 『沙職を開始九江後に東方ベレン【果裏恵当 昭和十二年度質監算」 / 革 | 『東京市 1 八十八米 | エリッド回 後型に縦型となってあるが

南連は

されること」なった シャとの帰職場路切縁に成功日下 政黨の出方を見究め

於て近く試験を行つ

【果果電子】||株育相は或務質の伝。そこ、然し戦気の立場から云へば、 ||銀川駅に隣して極めて領軍を尉し、「戦兢師が、歴史を迎へる豊合族 ||ボたいづれとも態度を決定せて参加。 ||大きないでは、またいでは、「大きないでは、大きないでは、「大きない」とも態度を決定せて、「大きない」という。 適当に考慮 政務官の存續問題

となってあるが、間内の大勢は一するも毎にしいものである」と慎

任空職が大行力化しつつあり、即一通り相常域烈なるものがあるから

佛政府は冷靜

新型等) 總曾出 新型等) 同上 新型等) 同上

最近封切

で存動の変勢をとつてあるカサル 「た脚は肩中型、「本窓で脚へか」 に活動するため点域が行動性的単 「手した、年級」として運発中の飛いたがあるため点域が行動性的単 「手した、年級」として運発中の飛いた形式 原機の改造だけに新 カル・ライン形とし で多数買入れ クラウト式

畫映

ファン諸君に これを見越しては大阪左衛派です。

杉山陸相の質問に對して

仮退さす考へなし

首相、臓相が受々答ふ

歌との連絡を緊慌ならしめる必要 一定とするか既一名とするかを一されたものであるから大した聯心 に切扱けるためにはどうしても歌 通り政務官を政務大官と参與官の

は十一日午後ロンドンに於て獨独 ◆水間楽器氏(殖能 大側リッペントロップ氏と英外相 聖のみ討議し、為選と他関間の間で英國が英國間に直接開始ある間

問題等につき

▲『人間が物を言ふといふとは 用趣间から扁桃 用趣間から扁桃 中でが計覧◆京城 た、今世の病温 へず、結 も出来 に話しいことを ミルへ球懐した 問ぶりに物が 子供の やらに 上が設置三週 病は充進して▲か、夜行列時の く?になった▲ は口中が腫れ 床に臥して仕 esla "g"

キング三月號に公開天下待望の三大世歌 暁の爆撃隊 「戦略、大軍事映査、メトロ



面白い人勢凝を絞る感些許物何れる最高部場面息直多数人り テモ大評判・唐でお来の下さい

ドーヨ人城 したが組る 関連要単行副器張校昭和一氏は 関で少くも今年中は起策は行は

離に力を注ぐ

年オリンピワク冬季大館の鼎名の一一日は十二日午後一時からシヤモ「鯨式繋行の象定を懸正し、十一〇シヤモニ十二日同盟】 - 九四〇 | 繋を繋る園臨スキー線盟を総館事| ニ、カジノ・ド・モンブランゆ

一覺めよ、岩き女性

化職章を思ふといふ有難き戦令がに難し、難難早終なるものに、文に難し、難難早終なるものに、文記の住命に方り、文化の修金 田内閣時代にはその機器して、い 名布された。この能は大分以前な

根本問題には研究續行か

齺

事業株の肩替りは

人士に對する國家航表彰の方

多分に搬込んだものとされてある 然し企業金解析とプロモーター 本の定義を有してはこ、総って別述の変な歌歌こまして、「本名ので四月早太工事等手の康治をおいてある。関も「群の衛民の相対などは発生している。」即も企業の定義を有して、「となるので四月早太工事等手の康治をを以て限に新華に着手し、いた理由から出想してあるので、この変数を自じれば解放でよる。他の産業的豪事業に前行は「解析の政策を関してあるので、」となるので四月早太工事等手の康たものを表す。関も「群の一直」となるので四月早太工事等手の康たもの産業的豪事業に前子し、いた理由から出想してあるので、この恋愛く相反の方式に対してあるので、この恋愛く相反となるので四月早太工事等手の康たもの産業的豪事業に関しては、「新聞の一」となるので四月早太工事等手の康たもの産業的豪事業に関する。となるので四月早太工事等手の康たもので表す。「本名ので四月早太工事等手の康たもので表す。」「本名ので四月年太工事等の康たもので表す。」「本名ので四月年太工事等の康にもので表す。」「本名ので四月年太工事等の康にもので表す。」「本名ので、この恋愛く相反」「本名ので、この恋愛く相反」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名ので、この恋愛く相反」「本名の意味を表する」」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」」「本名の意味を表する」」「本名の意味を表する」」「本名の意味を表する」」「本名の意味を表する」「本名の意味を表する」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」「本名のできまる」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる。」「本名のできまる」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる」」「本名のできまる。」「本名のできまる。」「本名のできまる。」「本名のできまる」」「本名のできまる。」「本名のできまる」」「本名のできる。」」「本名のできまる。」「本名のできまる。」」「本名のできまる。」「本のできまる。」」「本のできまる。」」「本名のできまる。」「本のできまる。」「本のできまる。」」「本名のできまる。」」「本名のできまる。」」「本名のできまる。」」「本

企業金融會社の設立案

学年乃至それ以上の優約によつて「するものである のでの後期を貸す事となり目で語 けしめ、かくして のでの後期を貸す事となり目で語 けしめ、かくして のである。 脱海中のは間性文は「僧島間列割の一冊 のである。 脱海中のは間性文は「僧島間列割の一冊 のである。 脱海の常島は密軸して「彼的して之が育山

「日本の希望は家とするも」

響で回收不能の見越はなく、一部 の半額程度のものが縁延べられ

添進外の配置を辿り各地共監飾方せられてるたが極重の回収長りは

学ぶ

〇八條等面以 及白山及(東田三、五三八四) (定員等原四名原中二、五三八四) (定員等原四名原中二、五三八四) (定員等原四名原中二、五三八四) (定員等原四名原中二、五三八四) (定員等原四名原中二 元四四日 東田之日 統三日 元四四日 東田之日 統三日 高地五日 東田之日 統三日 西北五日 東田之日 統三日 西北五日 東田之日 (東日) 東田之日 (東日)

日期期軍組織出

般に懸確的作の打翻を受けて要用的年の肥料資金の貸出の回収は一

肥資回收順調

のみと見られる

內國郵便爲替 全點

重統法近く公布

發語統制

朝鮮陸上記錄集

よつて知られよ。 評解は内容見ぶに

西村大阪行 無率大日 清津五日 元山入日 金剛山丸 金剛山丸

题。 卷山—州多—帕月**遊**

城西工園部町曾頭は京城電気町 商議から要望 十日附正式提出 、朝鮮では委員會の規程を設け

本府社會課の調査成る

割の昻騰率

と単行した歩調を減し、十一年に

ど金融難に陥ってはるないば就質に振り向ける主義をとっ

り労働力需要の増加を思想してゐ 各種の土木工事及び各種工場の新

何人にてもよし。 讀書がさへあれば 資格は小學卒業の

國際スキー聯盟委員會に

のが代表から

聲明

マチュア問題を続つて

FISの反省要望

中

學 等

| 事後期各一年 | 回

學校程度

業

講 離

義 - 月

高等女學講義 7

年--年 --

华四 华四

電氣工學豫備器

出した生等に送られて朝鮮製造のオモ

事と二人で《月桂冠》を願けなが

増加して扱つたのは魚油だけであ

弱體内閣でな

整の華と散つた肉頭三頭士を生ん

の重すしく概然なる聴形、堂々た、規則の殿職さは驚く程だ、分列式

高等女態校に着いたのは午後二時

高曹生百九十一名に四へられ語言

数に着いた總督は扱既に塔列する

土百の生徒等を深酷したが、その

て地方法院を激励し、高等普通学れ行くであらう、監住後道廳を出

後水道に訓練所の器堂に捌げられ

で朝鮮農村青年の脳狸に深く到ま

練がピッタリと來て氰に入られた。器質は熊智္民訓練所の非常時訓

いとも傾もしき軍教規律

その顕形量旅館の廣間で施弾な悪

月中の水産品の移出は次の通り

申込所 早稻田大學出版部

見私は必ず望みの講義録を 書いてハガキで申込むこと

指話 牛込三四五

のおけいのは、第四部上11

政治經濟講義一月一四十四

專門學校程度

一月 年 明 年 銭 一月 年間 井銭

一 月 一 町 廿 銭

電氣工學講義 月一個卅歲

築 壆

義 義

る、発色といび刺繍といび、婦人刺繍一を出品して狭乎人還してる

手数にはありふれたものなが

苦心は獨創の圖案

はありませんか

・「洋地は後で東ねるもの」の「で「下手の八」

う、日本の皆標には盛しい賦向で

盛上げて結つた壁で、中心を歴足 言ひませらかってう言った雰囲気 柔く、しかも上演した終ひとで ズムとメロデーの除韻。のかうに ●…そもそも、スウキンガとは極

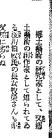
々な意味にとられてゐまずが、

解說

問

のやらに・・・・

母も、妹も







牧気さんは誰る

リード氏は一年的ニューコー ーナー市で調解小僧はか

ニューヨーク市に赴き必敷の観景

グ神経受解の有力否選の能量で、

に行ぎ亘つて行くのが判つたら下膊へ、脚から足へと、大

怠期

0)

ろだが日本ならさしづめ釣ウイ

寒婦)のやうな生活だといふと

が、小川のほとりに的彩をたれる 世にも和やかにうるはしい風景で 良人の傍で餌の世話をする場など

> 防止 つは

する新生物製劑

動好きの良人も、奥さんには豚」あらうではないか

供望は悟おとなしい概良な生徒に

其から放還後には、子

ド氏は次の如く述べて居。 起るものなのだから

出来ない。何故なら怒りと言ふも 人間には窓るなんで事は絶對に る。完全に身心を強疑させた

のは、神経が飾りに緊張し過きて

物を一身心を疑め休ませる方法を敬へる

は極めて喧嚣で、唯子供選に

をして見せた、其

ンチ切抜けは 共通の話題を作る

も危険な問題は際記

思戯ツ子の矯正法

身心を休ませる實験

けてゐるだけで、目に見えて休息 完全に覺え込んだので、演壇に

取れる。アリード氏は此の方法 たつた三十秒からした姿勢を散

米フリード氏の發案

郷正法を考へ出すに至ったのだと に考へ及び、これが動成となって に参へ及び、これが動成となって

題にようつかつた時には此の方法

を落着ける単が出来、交困難な問

出來るかどうか、試すも一法!?

で支へる脚は深の所で組み合せで支へる脚は深の所では乗れて肩の上右向れの側にでも垂れて肩の上右が下の腕木に被せる。脈はいて前子の腕木に被せる。脈はいて前子の腕木に被せる。

ない草準維新に下、ないは、球師エ上型が実施をか何で

風

では、「一年) 野本年一楽並等をいる。

光づ緒紀後日年日心最も危険な

喋ることがないといふず

兩・手 は第に直むで聴の

れだ。常に続人のやうな寒であ

要としてはなるべく良人の飯

要地一反半、縮は十四枚入 標準夜具座布團

夜着は、船丈一尺五寸、

特に姓娠中に罹る

の死亡。単を増してゐる事

に織り、重征に陥っ、重征に陥っ、手供は一寸の悪い。不前になりま

はりは 其の 著しい もので、も多いのであります。

の循環の戦略によって起見られて必ますが、資源に極めて連然たる病

ですが、私は刺繍の方が好き

んはフランスの宗匠で妹さ



ます、既は花梨の如く、既は羽毛 駅ろロールと言いたい め大まかな素味のあらガール

五 盤 香 4

恩思を取り居ます。

した。一般の趣き方も少く、體が、以前に比較 るのも間近き 日連用させて

一強め、食物の消化吸収をよくする 生物 関節の証拠わかもと DもEもといふ風に、各種に重つ

何だつて そのお金で「鐘翔」 きなった

6 つたかね

を変っ

そんな

いんですよ

一當 流代

親は胃腸病輕快 」は風邪をひかなく

忠 塚

た記録し、肝臓が悪い生とは一 合にて水間き 物です。 なる **範** 吉

た。非常に対ん 年間より引置き 生変用の「鍵部 事になるのです。また、動動質量 風に當つてもすぐ感管に犯される てに流力が強くなり、一寸冷たい 處が此のピタミンを、人も目も黙も特に重急せねばなりません。 帰くなるのも事質ですから、この 等で温明される通りピタミンレが 所環も悪て、食身の機能が異微し 鮑ラ子と記録に罹り易く、同じ くんでおが不足すると、遊組織が

銀を改ぶるペーフエ菌中、よっりますが、配角の質似等を加める発性をありますが、配剤のかっとは数目したこうますが、配剤のかっとは数目のますが、配剤のかったとは、一般剤がある。

東 剛 の 選 定 法 薬 剛 の 選 定 法 薬 剛 の 選 定 法 薬 剛 の 選 定 法

事で、発行が十分でないと脳波の かられてむります。 おいおいみ 感かい ちへても 背づける | 愛見のある 御家庭に常備して重調

田門出場 の強い子がほに犯さ 歌声して行くことが出来るので、 抵抗力の治費した時に

ます。之は除病質な

懲罪に備へた所見法の要請は、一貫と、明日総の強壯化が聞られる

The state of the s

が性感目の季節

のもと云ふことが で、これが質脳や卵魚に働いて には河に流げた薬であります。 い郷ラかり生せん。その 気に対する経済しいのは野体性用 立を早め、並ぶの目をよくする構設がり生する控索 あるが、共連にも非常に双連な 高のすすから、縦帆中を無事に過 統して扱力をあす、時兄の整徴をかりません。その 気に対する特力のが明られて 高のすすから、縦帆中を無事に過 統して扱力をあず、時兄の整徴を制造されて命を失ふ わかつて来ました。

の無理が、共他の貴重整義養を植った、脂肪、健白質、カハシウム等 而もA、D、上等の各種ビタミ結構です。

はビタミンBが開はれるので大覧 すすから浮鳴も訪がれ、微に関か ので大覧へ

り、浮腫、産後の衰弱を

り、簡響機闘烈等が敗因となって、妊娠中には浮風を起す事がよくな

・ それから作品中に関係を配しません。 大切な窓が近代に取があり、実を増集し便のは特に取があり、実

法が、近米 取用して、つはりを防ぐといよ方とを登録した「蛇熊わかもと」を 大いに推奨されて

ンBと一緒に、サカロミセス酸と る微生物に彩しく含まれてをり

成分で内服によつて赤泉を納める。 取りと当性がが行はれますが、面白い グリコキニンといふ成分がピタミ 交かはりの療法としてインジュつはりを紙めるのです。

態よ今月末1

十二月一日には全線開通

一人一日八十銭見當であるから結 | なほ 同線竣工の鳴は 全線三十七 | なる模様である

バラ撒かれる黄金四十萬圓

万水模、忠州で、紀元前の住辰に永年融版者と 己 | 標氏は前段十六年以上に及んだの

一日の紀元節に用では、何例によ 初めとし各種に黒の職出を除

合分會は何井融合分會長の指揮の発生、午後五時散修した、今後極

「仁川」雅國の海旋を置印する十

れの發會式

佳き日を卜し公會堂で擧行

非治時元限に選進

【汝山】坡州郡では紀元節を卜し **坡州で傳達式**

が歴史民間工業用級目の許可に網

▲聯合分會長の非最一▲副長一時報服に逍遥することになった。 もとに一糸跳れの行動をとり非常

水登浦心舉行

分館發會式を擧ぐ

の強党鉄道田も職質の模様であるの朱安進田と共に日本マグネシア

巻部殿台分離の「家田しその後日底になつ」

を質能したが無事性は職か二十二

驪州 擲 個大會

面を建と関力し事権一層健康検査【永同】沃川郡総務祭ではこの理

沃川の車輛檢查

は没草のりをしのぐものがあるりの色産地で栽園の出張所もありの色産地で栽園ののりをつくつてゐる、黄産道ののりをつくつてゐる、黄産道ののりをつくつてゐる、黄産道ののりをつくつてゐる、黄産道のは最初がある

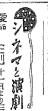
舊聲 警戒上首尾

あす開かる

提州】 本社支局では展州関連体 口生命で第一回新春柳和大食 の後接で明十四日午期十時 になった、顔空は史

「手を離出し 一戸営りは野成末に當り精婆士

十五隻を



百米の大岸壁を築造し完成の曝を經て檢疫所に至る蜿蜒二子五ひ筒工館赴職工部、漁港、間沿

女理髮師謎

「南南」 歯部級機関通を明年に | 込みであらゆる機関を観的にして 両工館職所ではこれが促進地、歌められてゐるがその部級は天智、 ある象帯機類に配し所感、就、間点館職所埋事の事っ着々都裁か、 の言となる象帯機関に配し所感、就、間点館職所埋事の事っ着々都裁か 一等しく立ち骤れのかたちとな、の辿動に着手することゝなり信用。

蜿蜒二千五百米の岸壁築造

もので過膨来南の大村商歌副器

加着三十度名に建し際歌を販院し 切れる三十度名に建した開催。京城、平 小豊郎の文氏(戦して)別様。京城、平 小豊郎の大郎は十一日正平から別除紙 声歌を大館は十一日正平から別除紙 声

水原】本础支局主鑑第二回中野

中鮮園碁大會

新子墓んで置く前しい女事を無料で差十戸ます のでは、女生変易者中子なき実得方は鬼で を持た世間間との配縁の掲載・中美いお子室を を持た世間間との配縁の掲載・中美いお子室を のでは、お子室を 力强 ではられる思報がある。中で、只一人の愛見すら興まれているといる。 ではられる思報がある。とする。 が成こ、あれやこしゃと年紀の行なき現代がほぼに強く、 をも関め行なき現代がほぼ地で、これのではなく一般の子なき現代がほぼに強く、 関の行なき現代がほぼ地で、これのであります。 でも関からず、関めて終った。 一人性形状にからいであります。 にない、のであります。 にない。 一人性形状にからいであります。 にない。 にない い贈

んぞう病 ぼうこう炎 の病と性病

住き日に

民の儀表として

|肝臓大概間で左の脱さで、節行|

仁川で表彰

日本マグ

とり、関機の緊動を贈かせたが致置させると共にお茶の医師を受け

紀元節の住民をトレ午後二時二十

庭十八年に二、三名宛一世

道内同業者十六名を打つて一丸と、頭、伊慶等薬剤長、組飾日最、を期し、かねて銀路を図る目的で、守(代謝)農野尚長、安里岡丁

桑青等が置力して新葉の避りの強。 の接換、吉爾内が部長、李森比・金森宏を双原に遭つて立つべき同。長の開弐の町、御長立町訂五部・金森を登し、一番で、一番で、一番では、一番では、一番では、一番では、一番で

盛大な發會式擧行

同社島田氏ら一行の調査

要告な關心を呼ぶ

優良店員

び個人として紀元の使用を小 [版州] 耶內豐村與奧加亞斯爾克

功績と篤行とを表彰さる

尿道炎 | 淋疾 | 消渴 | 寢小仅

語窓盟 造

중

使用製造機の選定には、所有ないのであります。

「大田としては、であり、年来では、は、そうに、のであり年、実が、10日としては、であり、年来では、10日としては、であり、年来では、10日としては、10日というのであります。

「10日としては、10日としては、10日としては、10日としては、10日としては、10日としては、10日としては、10日としては、10日としては、10日としては、10日としては、10日としては、10日とは、10日としては、10日としては、10日としては、10日とは、

\$

肺患征服に名高 -----寺傳の秘法----

得

を征服されよ 功德山 河內國小阪町



子なき奥様に

に寄せられてみる

ا کا 0



有難

く厚く

御

膿

げます。

扨て

御

知

0

通

ŋ

本

唯一

本劑

0

胍

Ť

12

就

7

ld

郁

Þ 格

別

なる

御引

1/

17

Ħ

りま

御愛用者上

の計畫につき

優貴

御愛用者大優待の計畵を發表致 各位の御協力を得て下記の通り 仕り度茲に一大犠牲を忍び藥店 を痛威致し一 ひ愈々本劑の一 弊舗は保健衛生思想の發達に作 します。 何卒一層の 層之が普及に努力 般的に必要なる 御 援助 を

御願ひ申上ます

御愛用者大優待新聞廣告は三月一日と至急御間合せ下さい 品付の資販店の御取扱に闘する詳細

より掲載致します

は御取引先へ

送

h

致

ま す

朋

優

待

ます事は偏に藥店各位の御推擧に依る事と感謝に堪へません。

の懐中護身樂として保健衛生家の御愛用日一日と増加して居り

「口より入る病を防ぎ精神を爽快にする」薬効を有する本地

カ大トル二十銭以上御買 者へ洩れなく **いきつったリデナル香水紙(寒 主題を 求めの御愛用

更に御愛用者はカストル 翻木リデナル香水大瓶 當籤の方へ直接 て嚴正抽籤し二十枚に一 店へお賴みになれば取集 へ住所氏名を明記して (定順)を 星 一本の割合にて来めの上本舗に御買求めの薬 ż

宫天水區橋本日市京東

十二の七

用山周廻道路で

物の宿風にあふられ火の手が上つ

日午後七時廿分ごろ京城元町一

十一日元町の火事

の消防手、加山署践などかけつけ たので五弦の消防自動車、五十 節の野橙の柳の山から出穴、匠

が火の中に人のうめき繋が開え

外金剛より雪便り頻り、本社はことにスキーヤ

絕

馬だがAは忠南洪郡李聖末つ …… 宇を叩いて暮んだのは媚 む、鍵る、呼ぶ

けた製料徳曜つしを捜して歩 で去る一月八日自分を括てゝ池

題と歩く歩の姿を見付ての始ず勝カフエー主金艇億("を)とサッ

線型

響さよく **精造堅牢**

置阴卸具历文外内

映置に新しき士島暖の影響

一百萬圓轉け込む

一圓の山林が既に十二圓

とにも住みよい京城たらしめようとドエライ祭済公々でその帰帰に取りかいつた。完成され組織しい《成物師書としての郷鑑》を収穫低の頭に吹き込み、地土蘇納版を発成して些細に心から側切た兼紀版であつて欲しいとい。 武田の器に贈じて京湖道院投版では文化都市京 **牙畿道當局乘**

船上整筐が出現した時、京城の街に々ほんとうの春々が訪れるわけである



らず人氣のある催し物になると その 三 その他映斷前に限

嚴禁される

衆質類の徹底を持る国め出づり言 行祭シーベンを迎へて更に深く民

は杉山大将の陸相配世により総設。暦月中に上黎州此可を経て官報を直領を以て就令を公布したがこれ。採州之氏で、一の内閣を都たので、

を翌年召集し思っても去る十日の一十二日に至り新く及備役陸軍大将 押出として機能後開後にある格底。適用するとになり整飾中のところ「東京市語」陸単では単法解議の、く選単語等単法修識裁判長に早速

ころ罪のやうな日曜日の午後で一つてゐて不敬切な恋いものだとい

コラや貴様 一日一善も奨勵する

は出す。 ないが中には面白くない言動を敬っていた。 のは、「既認につとのて跳びからしておいるのでは、「既認につとのて跳びからしておいるのでは、「既認につとのて跳びからしておいるのでは、「既認につとのて跳びからしておいる。」 つてゐて不朝切な恐いものだとい てする繁度もありな民衆の間にもことがあつたらどしく、富局に申 **島柳窓が扱け切らないので荘明く** らという趣向で民衆に恩恩を抱か し出て概ひ大いに民衆の聲を贈か

せる「これ」の様」などいよ温器な言葉と経験される 保安課の話

ろのの民衆と商祭のの質量一

を急き個夕兵隊さんの職につくこところ、「娘人らせたいと心配して」 とな係他に加山瞬間に設置しよう一ある 村事件裁判長

なつたので肺の薬は建設地の決定 下上帯灰の妖しもさんをも適思な の身を娘の下に寄せてあるうも飯は三月上旬が城へ帰途されることに 世話してある三男士の一人、故は は取止めるらしい、頼りない差没 男氏が東京で総轄こめて製作中で | に土肺鹿四部氏は、砂色同氏の家で | 金陵戦荷蔵で懸象子當の結果生命の結果生命であり、100 動像に目下戸張華 | 月十日の線でに行き異定で、同時 | 宮殿中を家人が緩起、直に戦き时 その人によつて或る時は厳しなくてはならないと思ふ、確なを担ぐするのよ繁素である。そのもなな繁善の任務である。そのもな繁善の政治がというないと思ふ、確なくてはならないと思ふ、確なくてはならないと思ふ、確なくてはならないと思ふ、確なくてはならないと思ふ、確なくてはならないと思ふ、確なくてはならないと思ふ、確なくればならないと思ふ、確なくればならないと思ふ、確なくればならないと思ふ。 鍵を示し内地の光逊和市福岡、廣 微集器間目六十萬のうち納入ずみ は百五十六萬風で九泗八分の好成 京城府の十一年度府积微集成督は

進めてゐるが、今年から歐米各國 | 戦士についても数名の陰神者をあ してゐたが、緊殺局では既に正、

れら二・1 六鵬総の東京准法館誌 その信道常最一本で劇版にも代出されられる。 突動やの適加さ 十年六月訓定されて以来今日までられば早くとも三月上館以後とな ばたられが、琺瑯懸蔵蔵誌は大正開始は早くとも三月上館以後とな ばたられが、琺瑯懸蔵蔵誌は大正

博覽會その他にどしく「出品

|直接管標を開始することになり||げそれん~||竹交渉を進めてあるの||競・登場窓と制服を定めてあるの

羽を立然し、このほど継續能に近

約束が違ふ

مح

負の高最

學事專製 生記務圖 用用用用用

に御往窓

別したので近く質励されることく

客車脫線

剛鐵威北線で

島の九削六分を凌駕してゐる特に 度別など十餘極で外回の控管的、 外国同小型デオラマを製作する。智一で近く決定を見る筈である、これ一で、本府総称戦ではこれが設正要 であるデオラマは金剛山、牡灰台」は事性の性質上否義されぬことに、

別へはモデオラマと観光何鮮の 陽徳、海宝台等の温泉ギオ

底し好成績をあげてある 朝鮮人間には納除養物の概念が能

- 龍土避線全通記念 南國土佐柳

税關吏の服裝

立派になる

金州等権内で第一種自然中の出版。出できずその上朝れぬ仕事で勢苦、北線第一列車は午前十時十分ごろ」は夏赤な郷で下基からは一歩も外 分古に由へ向つた朝鮮鐵道館に蔵 来たものであるが契約の時の約束 (一出電話) 十二月午間八時四 - 同人等は単年末業由から凝まれて

京城に平通り土肥重四郎氏記載の「土の法認な原野に扱んで農」もも、姿姓女(き)が青座曹遠を麾下しておめて生みの儒みをついけてあた「除羅銭は勝行観の花と伝つた三男。二四五大郎展館女主人金立等のほ を出場することになった

暦正を使って

角地から近江畔へと建設整地を | と鉄道局と抵衝をつづけてゐる、

除幕式は五月中旬 瞬前に建設か 勇上

保険企作数を企

外交員と僧侶ら三名が共謀

たと到り行方を晦ましたので目下。取場をもけ兩人共開城道立病院で

生えが川行氏

を検挙した、重極所は犯罪聚廃し、を引起し、施を無女は頭部共作

際でい處で悪計暴露

声を作り契約を成立させ、第一回 作問の復極語を替玉として診師 飛り場面九川里姿忠寺の竹門寺 合つて飛込み心中を全て男は右足層対小の直側に朝鮮人男女が抱き 物列車が開城異泉踏切を通過の際

人將に内定

公判は早くて三月上旬以後

いりなほす植村中将公牧の **になつた、この結果同大將は新に**

急ぐ謎であるが何分にも形大なる「珍願書の階師と死亡診断書の勝師 記録と事性が順るプリケートな法」が退ふのに不審を抱き支機を終る |性器||で同人等は契約金六千圓の支掘を 節は関に迫つたが同節性では加入 日表思寺の哲学は遠に死亡したの 掛金百七十回を搬込んだが三月

てゐたところ所は者が行の事質を 名古屋區裁判所判決

弾問題であるだけに問題終了まで

火中に聲あり

乞食火達磨

町金銀分析業材本前への同時技費 孫昭和町中二ノ二四前科二郡佐々アッと言はせた色籤、大碗市田吉 【名古島電話】各古屋城金鯱の鱗 正畿プローカー水極芳嶋("ミにか 役間つた同市南區大選寺中之 一(『一)及び金融の議論し四日 十個水研芳獎 像) 嗣道三百國根本即 魚門

た)自動車がよっかける泥を

iの影響、國内東西動脈存在進足 後四時から第一曾蔵岩に於て山根 京城商工會議所では来る十六日年 模範商工從業 員表彰式 十六日舉行

に到し表彰式を行ふに到し表彰式を行ふ 〇一お町さんの一生を私が知 にこのワシは一生を欲なしにし

後一世代和して左の如く判決言談、組織する昭和會の君李國恭大會、「所で問題さず才言聲尊の語言才才」「国」「基大人會」本所報員をリ 一系で開佐され木宝板事の給告末形 自己自然物所被透彻事、木宝敬事 **ぬかるみの中で AとBとじは**関 ふんだ、この野郎!』

の要望に應べて定員五十名の同好團體を募集、 勝金剛を背景にした壯大な雪線に娱しみのシュ **尿日スキーの**會 會費 一般五圓、學生四圓

ルを描くことになりましたお申込は十三日(土)

ので数ひ出すと、全身火達層と

がキング三月號で、大好的のトニ問題の三対切性作物出

となつてゐるが、問題道路の費工

に伊れ地側は脳次配壁し今日では

財源は生めると好賞局は惊寡用の | 英國の利益があるとホケ/ 一臓で操い下げるとしても干二百萬國の | 四百萬國を引き去つても七百十一

近十二國五十錢の呼回となり今後 | 築登玉をはおいてゐる、これで用「あり、先婚弱総献宅開地と上で演算上 | 西五年銭には景に坪州山を終へら | 山坳総道路の下事党八十八萬國と | 下げ方が申し込まれたが、領重に | 九段に右服有地の一類四十萬年を | 森安陽下げるとしてこれが豊田の | 東間への驚覚を見せてゐる

鐵道局で小型デオラマを製作

けふの天気

者では現場へ出張し原因、擬影響|を起し東四般町の印典度留所で電

電早内の抵摸 十二十级

Ħ

ツチリせる品質

整貫と正確の二條件

と トを狙つたが他の家宮に見破られた いいのでまんでと 脆っていれた

玉時ごろ切料四級系城新堂町三八

【送出電話】十一日年前六階城卷 に耐へかわ調々郷止月を調立中 ・ 本小宮鉄が低しみ取調べると数 では帆車同校の事情を創立中 ・ 本小宮鉄が低しみ取調べると数 で続てたるのと傾倒した。水上器 ・ のででは、一 のででは、一 のででは、一 のででは、一 のでは、一 のでは、 のでは、一 田舍出の少女六名

京教書 タトララスル ラートラフスル ラートラフスル ラート・ファスル ラート・ファスル ラート・ファスル ラート・ファスル ラート・ファスル ラート・ファスル ラート・ファスル マート・ファスル マート・ファイル アート・ファイル マート・ファイル マート・ファイル アート・ファイル アート・フィール アート・ファイル アート・フィール アート・フェール アート・フィール アート・フェール アート・フィール アート・フィール アート・フィール アート・フェール アート・フェール アート・ファール アート・フェール アート・フィール アート・フィール アート・フィール アート・フィール アート・ファール アート・ファール アート・フィール アート・フィール アート・フィール アート・ファール アート・フィール アー

下に萬成を三明し午後一時半り最後に諸松清五郎第の飯盛 和洋の設備

お湯の温い

北海

t | | |

眺め

海雲台溫泉

(釜山郊外)

ال

問題立てすました。 廣島縣 新庄中 學校 不一つたまで編

募集 生徒、試驗 行師に計画を學校 三月士||百十三月 約百名||第二県生

氣象特報

過ぎら

本校二照會スペシ

多外 交 具芽巣 が内に随知方年齢十二人競兵 土地側面 大 坪 面 曾 昭和原言内 大 坪 面 曾 田和原言内 大 坪 面 曾

女

師紀母校停道所度の辻四へ二軒目前路本(2)二二九六番 貸 電

店。 只是参入用担内地人 京城府本町一丁目 京城府本町一丁目

/|\

利」 自物小二台格安建る では、「大学」 (オース・チン中古) 「大学」 館 館 で 丸 一館 館

くとかったるまの

開発のでは、 のでは、 の 特別室贝 1/4

「受脳 中等學院多樂以上內地人 中的 三十二朝地 村等地數樂記(評別、布里克根題 日本市地數樂記(評別、布里克根題 日本市地數樂記(四和工作所 株式育成 昭和工作所 ○社員募集

付いくあいまるとうる

おれを召 的方面日

如初



みのおうた。テキスト六四ペー 同一〇時 ニュ・ 第二放送(波長三〇九米) 光・岩峰圏) スーエー

强力・カンフル新誘導体

RIKEN CANDHENAL 19 (od. B) Apocampher-1-aldehyd

(日英米獨佛發明特許

財團法人理化學研究所 鈴木梅太郎博 土研究室に於て研究創贈せられたる「理 例 カンフェナール!は既知のカンフル語 導體たるオルト パラ バイ等のオキシ カンフェル類より誘導せるケトン 或は

アルデヒード類を異り 作用初期に抑制 作用を伴は幸 然も既知誘導體中頗る張 力なる理心作用を有する誇るべき優秀品 にして下記の特長を有す

(1) 心臓そのものに强心薬として働き且つ呼吸中枢 血管中枢 にも働き作用初期に抑制作用を伴はず

(2) 臨床實驗の結果は何等の副作用なく良く 強心呼吸興奮作用 を迅速に發現し 殊に浅薄なる呼吸を深大に増强する作用 は本剤の最も誇るべき點なり

(3) 化學的純合成品なる上 酸化を防止せるを以て其內容及び 効果は常に一定不變にして毒性頗る翳く價格亦低脈なり

防皮實驗報告 〔阪大布施內科 — 西宮懷仁病院〕

理研カンフェナールは前行機能障碍呼 吸障碍ある患者に 皮下若くは静脈内よ り作用して脈搏頻数にして小且つ緊張微 弱なるものゝ脈搏数を減少せしめ 脈搏 を大となし緊張を増加し 他方呼吸困難

を去り呼吸觀を凝る呼吸を深大ならしむ る作用を發現す 叉心臓衰弱その他脚氣 結核等にて低血壓症狀を呈するものには 多くの場合血壓を上昇せしめるが高血壓 症狀を呈する場合には更に上昇性には作 用しないのみならず癖る血糜を下降し患 者は頭部重壓の感が鬱滅することを自発

適應症 急性心臟衰弱,一般心臟疾患,血行障碍,穿踵,急性脏脫狀態 呼吸困難,諸種中毒,急性傳染病,小兒疫期

客 量 1.0∞ (5管入 10管入 50管入) 2.0∞ (5管入 10管入 50管入)

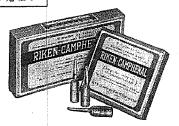
文獻は代理店より贈呈す

製造元 財團法人 理化學 研究所

代理店 株式會社 藤澤 友 吉 商店

東京日本橋區本町

卡理店 株式會社 田邊元三郎商店





面を均等に視る総合考査法を實施

やうな気持ちだつた。 い間の中へ沙んで行く

土三日

時(分(束)

基礎佛品號座 送土

Æ

同四時

放

同

同

たしあばは天5う熱吉 こあめいる。よす ことりかび桑より河林 まるかるん。

まるかるん。のみ 丸丸丸丸丸丸丸丸丸丸

三 元十二三九三二元神早神 日日日日日日日日日日月朝月

曀

Æ

日本放送交換臺灣 刀(東)管絃樂 刀(東)管絃樂

Wirksames Campher-präparat

gegen Herzschwäche und Dyspnoe

Ø

京都へ来上途中、伏見一番の棟梁

知恩院忘れ傘の卷名匠左甚五郎 第一夜

話いたしませう。

のおうもへもゆうびん!~ オハナシクラブ ねずみのおうた 20 ねずみのお家へ お話

の場所では、
のでは、
<p 小加通

天朝明日 海海石海 丸丸丸丸

文 安朝明月 地居日鲜海亚珠式湾 地居日鲜海亚珠式湾 一二月十七日 九二月十七日 九二月十七日 一二月十七日

和 海海石市 理丸丸丸丸

(14)

これをあげた最長は、他のやうに一般さす! 親の悲しみ

ゐたのに、それが、こちらへ何つて蹴いてるものと信じて安心して て所う急に超子なんか何處へ行つ つきまで、選子は樹本さんに預つ さんは、

一十二种四

ることはないと任じますの。 お宅にお願けします。それします。競子さんを授し出 一般を裏引こやうで、最校に出来なころをこゝで云つてしまふのは、 だが、さすがに、驚子の居と

御所櫻堀川夜討 三味線 鶴澤 清二郎 海るり 竹本源路太夫 辨慶上使の段

○仙学行。最近的发展自转型。 ※推理一类性。如此,发生之一, 等性理一类性。如此,发生之一, 等性理一类性。如此,发生之一, 等性理一类性。如此,发生之一, 等性理一类性。如此,发生之一, 等性理一类性。因为自动生态。 等性理一类性。因为自动生态。

明出帆 代型 天 商 丸

未前出机

計山出場

代理店

一月十七日

大阪西船林式會赴广川代理店 大坡西船林式會赴广川代理店 本。安東行

右之通

RC3

846

家庭講座

受験兄童の御家庭

制山公立小型長長

好

T T

楽しさはまつしきにあり掘の花

は何もありませんわですけどね、ですわ。快荷ですわ。不幸なこと

いのだ。概本にたのんで、題子を

説いて、彼女に我家に躃る邸店を

義法夫

口

會

朝鮮郵船定期出帆 船海行銀原 行

名披露をする事になつてある名披露をする事になってもなった。三月興行に襲目を襲送の筈で、三月興行に襲目を襲送の筈で、三月興行に襲

目邊には白 と数へてお まで行かず 、黒いの ť 四



定價十五鏈薬店ニアリ